

日 薬 情 発 第 59 号
平 成 28 年 8 月 2 日

都道府県薬剤師会会長 殿
同 担当役員 殿

日 本 薬 剤 師 会
会 長 山本 信夫

子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策について (包装容器による対策を含めた取組について)

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 27 年 12 月 21 日付け日薬情発第 106 号「子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策について」において、包装容器による対策を含めた事故防止対策は、「子供の医薬品誤飲防止のための包装容器評価に関する研究」(平成 27 年度厚生労働科学特別研究事業)がまとまり次第改めて考え方を示すこととされていました。今般、上記研究が取りまとめられ、本会へも別添の協力依頼が参りましたので、お知らせいたします。

この通知では、製薬業界に対しては、誤飲した場合に重い中毒症状を呈するリスクが高い医薬品等に用いられる包装容器の標準的な対応(設計工夫)を検討すること、薬剤師会に対しては、薬局等での継続的な注意喚起及び情報提供が依頼されています。

つきましては貴会会員に対し、これまでに本会が作成した子供の医薬品誤飲事故についてのポスター・チラシ等の資材を活用しての注意喚起を行うことに加え、各地域の実情に則した相談機関の情報を患者・保護者へ提供する等、順次可能な範囲での対応を周知くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、本会では今後、包装容器による事故防止策について日本製薬団体連合会等の関係機関と協議を行う予定です。

< 参考 >

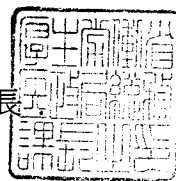
- ・小児による医薬品等誤飲防止のための啓発ポスター・チラシ(日本薬剤師会ホームページ・別紙1)
http://www.nichiyaku.or.jp/wp-content/uploads/2016/05/0516_1.pdf
http://www.nichiyaku.or.jp/wp-content/uploads/2016/05/0516_2.pdf
- ・「子供による医薬品誤飲事故防止」に関する啓発リーフレット
(日本製薬団体連合会ホームページ・別紙 2)
<http://www.fpmaj.gr.jp/documents/nyp497-1.pdf>
- ・公益財団法人日本中毒情報センター 中毒 110 番電話サービス
<http://www.j-poison-ic.or.jp/homepage.nsf>
- ・小児救急電話相談事業(＃8000)
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2006/10/tp1010-3.html>

04

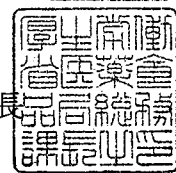
医政総発 0715 第 1 号
薬生総発 0715 第 2 号
薬生安発 0715 第 2 号
平成 28 年 7 月 15 日

公益社団法人 日本薬剤師会 会長 殿

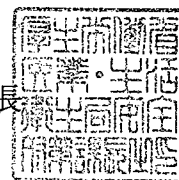
厚生労働省医政局総務課長



厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長



厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長



子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策について
(包装容器による対策を含めた取組について)

子どもによる医薬品誤飲事故については、「子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策について」（平成 27 年 12 月 18 日付け厚生労働省医政局総務課、医薬・生活衛生局総務課、医薬・生活衛生局安全対策課連名事務連絡）において、包装容器による対策を含めた事故防止対策について、改めて考え方を示すこととしていたところです。

今般、医薬・生活衛生局が実施する医薬品・医療機器等対策部会での専門家の意見を踏まえた上で、平成 27 年度厚生労働科学特別研究事業による「子供の医薬品誤飲防止のための包装容器評価に関する研究」の研究結果が取りまとめられたことを受け、別添のとおり日本製薬団体連合会会長等宛て通知を発出しました。

つきましては、その内容を御了知いただき、貴会関係者へ周知いただくとともに、下記の点に御配慮をいただくことで子どもによる医薬品誤飲事故防止への御協力をよろしく願います。

記

- 1 子どもによる医薬品誤飲事故のリスクや、事故発生時の対処方法（相談機関の利用等）について、保護者等に十分に認知されるよう、情報の掲示等により継続的に注意喚起及び情報提供いただくこと。
- 2 子どもが誤飲して重い中毒症状を呈するリスクが高いことから特に注意を要する医薬品^注を中心に、患者及び保護者等からの要望を受けて、薬剤交付時に誤飲を防ぐ対応を効果的に行えるよう、関係業界等とも協議して包装容器による事故防止策を検討いただくこと。

注) 子どもが誤飲して重い中毒症状を呈した主な医薬品として、特に催眠鎮静剤、抗不安剤、精神神経用剤などの向精神薬、血糖降下剤（糖尿病治療薬）、気管支拡張剤（合剤を含む）及び血圧降下剤に関する報告が紹介されている。

（参考）

- ・ 第28回 医薬品・医療機器等対策部会 当日配布資料4
（平成28年3月11日）
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000116079.html>
- ・ 消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等原因調査報告書「子供による医薬品誤飲事故」（平成27年12月18日）
<http://www.caa.go.jp/csic/action/index5.html>



薬生総発 0715 第 1 号

薬生安発 0715 第 1 号

平成 28 年 7 月 15 日

(別 記) 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長

子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策について
(包装容器による対策を含めた取組について)

子どもによる医薬品誤飲事故については、「子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策について」(平成 27 年 12 月 18 日付け厚生労働省医政局総務課、医薬・生活衛生局総務課、医薬・生活衛生局安全対策課連名事務連絡)において、包装容器による対策を含めた事故防止対策について、改めて考え方を示すこととしていたところです。

今般、医薬・生活衛生局が実施する医薬品・医療機器等対策部会での専門家の意見を踏まえた上で、平成 27 年度厚生労働科学特別研究事業による「子供の医薬品誤飲防止のための包装容器評価に関する研究」の研究結果が取りまとめられました。

これらの意見等を踏まえ、子どもによる医薬品誤飲事故防止のために御配慮いただきたい点を下記にまとめましたので、御了知いただくとともに、貴会関係者への周知方よろしくお願いします。

なお、別添のとおり公益社団法人日本薬剤師会会長及び一般社団法人日本病院薬剤師会会長等宛て通知を発出していることを申し添えます。

記

- 1 子どもによる医薬品誤飲事故のリスクや、事故発生時の対処方法（相談機関の利用等）について、保護者等に十分に認知されるよう、継続的な注意喚起や情報提供を実施いただくとともに、医療機関及び薬局等が注意喚起等を実施する場合において協力いただくこと。
- 2 子どもが誤飲して重い中毒症状を呈するリスクが高いことから特に注意を要する医薬品^{注1)}を中心に、その包装容器について、子どもによる誤飲に対するリスクマネジメント^{注2)}を実施し、標準設計の作成等を検討いただくこと。

注1) 子どもが誤飲して重い中毒症状を呈した主な医薬品として、特に催眠鎮静剤、抗不安剤、精神神経用剤などの向精神薬、血糖降下剤（糖尿病治療薬）、気管支拡張剤（合剤を含む）及び血圧降下剤に関する報告が紹介されている。

（参考）

- ・ 第28回 医薬品・医療機器等対策部会 当日配布資料4
（平成28年3月11日）
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000116079.html>
- ・ 消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等原因調査報告書「子供による医薬品誤飲事故」（平成27年12月18日）
<http://www.caa.go.jp/csic/action/index5.html>

注2) 危険性の分析、評価、低減方策。

(別 記)

日本製薬団体連合会 会長

米国研究製薬工業協会在日技術委員会 代表

欧州製薬団体連合会技術委員会 委員長

日本OTC医薬品協会 会長

公益社団法人 日本包装技術協会 会長

(以 上)

医薬品、ボタン電池等の子どもの 誤飲に注意!!

子どもの好奇心・行動力は、大人の想像をはるかに超えています



医薬品を使用する際は以下の点に注意しましょう!!

- ★子どもの見えない場所、手の届かない場所に必ず保管しましょう。
- ★服用後は必ず元の安全な場所にもどしましょう。
- ★医薬品を服用する行為を子どもに見せないようにしましょう。
- ★おじいちゃん、おばあちゃんの薬にも注意しましょう。



日本薬剤師会
Japan Pharmaceutical Association



STOP!

子どもの誤飲!!

医薬品、ボタン電池等の子どもの誤飲事故が増えています

子どもの好奇心・行動力は、大人の想像をはるかに超えています



医薬品を使用する際は以下の点に注意しましょう!!

- ★子どもの見えない場所、手の届かない場所に必ず保管しましょう。
- ★服用後は必ず元の安全な場所にもどしましょう。
- ★医薬品を服用する行為を子どもに見せないようにしましょう。
- ★おいしいちゃん、おばあちゃんの薬にも注意しましょう。



日本薬剤師会



STOP!

子どもの誤飲!!

医薬品、ボタン電池等の子どもの誤飲事故が増えています

子どもの好奇心・行動力は、大人の想像をはるかに超えています



医薬品を使用する際は以下の点に注意しましょう!!

- ★子どもの見えない場所、手の届かない場所に必ず保管しましょう。
- ★服用後は必ず元の安全な場所にもどしましょう。
- ★医薬品を服用する行為を子どもに見せないようにしましょう。
- ★おいしいちゃん、おばあちゃんの薬にも注意しましょう。



日本薬剤師会



STOP!

子どもの誤飲!!

医薬品、ボタン電池等の子どもの誤飲事故が増えています

子どもの好奇心・行動力は、大人の想像をはるかに超えています



医薬品を使用する際は以下の点に注意しましょう!!

- ★子どもの見えない場所、手の届かない場所に必ず保管しましょう。
- ★服用後は必ず元の安全な場所にもどしましょう。
- ★医薬品を服用する行為を子どもに見せないようにしましょう。
- ★おいしいちゃん、おばあちゃんの薬にも注意しましょう。



日本薬剤師会



STOP!

子どもの誤飲!!

医薬品、ボタン電池等の子どもの誤飲事故が増えています

子どもの好奇心・行動力は、大人の想像をはるかに超えています



医薬品を使用する際は以下の点に注意しましょう!!

- ★子どもの見えない場所、手の届かない場所に必ず保管しましょう。
- ★服用後は必ず元の安全な場所にもどしましょう。
- ★医薬品を服用する行為を子どもに見せないようにしましょう。
- ★おいしいちゃん、おばあちゃんの薬にも注意しましょう。



日本薬剤師会

「医薬品」

子どもの誤飲を防ぐ

3つのルール



一、見えないところ

にかたづけましょう。

二、手の届かないところ

にかたづけましょう。

三、服用後すぐ

にかたづけましょう。

家庭に持ち帰った医薬品を、
子どもが誤飲するケースが多発
しています。

これを防ぐためには、まず専用の
薬入れと保管場所を確保して
ください。

間違いやすいお菓子の空き缶
などは使用しない。

専用の薬箱や子どもが開けにくい
容器に入れ、使用後はすぐに定
位置へ戻す習慣を。

扉のついた高い棚や鍵のかかる
場所なら安全・安心です。

子どもが誤って薬を飲んでしまったら！

つくば中毒110番

029-852-9999
— 365日・9～21時対応 —

大阪中毒110番

072-727-2499
— 365日・24時間対応 —

小児救急電話相談

#8000
— 365日対応 —

日本製薬団体連合会

保護者の皆さんへ

別紙2(B) 家庭に持ち帰った医薬品の
子どもによる誤飲が多く発生しています
子どもの行動を考えて、
家庭における薬の保管に注意しましょう

乳幼児のくすりの誤飲は大人の責任。
くすりは子どもに見えないところ、高いところ、
手の届かないところで保管しましょう。

✓ 推 奨

- ✓ 高さ120cm以上のところに子どもが開けられない鍵の付いたくすり箱等で保管する
- ✓ 子どもの見ているところでくすりを飲まないようにする(子どもは親のマネをしたがる)

子どもが医薬品を誤飲した際の相談機関

(例) 中毒110番・電話サービス、小児救急電話相談(通話料は相談者負担)

つくば中毒110番

029-852-9999

365日・9～21時対応

大阪中毒110番

072-727-2499

365日・24時間対応

小児救急電話相談

#8000

365日対応

日本製薬団体連合会

保護者の皆さんへ

乳幼児のくすりの誤飲は 大人の責任。

くすりは子どもに見えないところ、
高いところ、手の届かないところで
保管しましょう。

家庭に持ち帰った医薬品の子どもによる誤飲が
多く発生しています
子どもの行動を考えて、家庭における薬の保管に
注意しましょう

推 奨

高さ120cm以上のところに子どもが開け
られない鍵の付いたくすり箱等で保管する
子どもの見ているところでくすりを飲まない
ようにする(子どもは親のマネをしたがる)



子どもが医薬品を誤飲した際の相談機関(例)

中毒110番・電話サービス(通話料は相談者負担)

つくば中毒110番(365日 9~21時対応) 電話:029-852-9999
大阪中毒110番(365日 24時間対応) 電話:072-727-2499

小児救急電話相談(通話料は相談者負担)

#8000番(365日対応)
お住まいの都道府県によって時間帯は異なります